

浄極まり光通達し 寂照にして虚空を含む
却り来つて世間を観ずれば 猶夢中の事の如し

仰ぎ冀わくば三宝 俯して昭鑑を垂れたまえ

山門今月今日伏して

法名

忌のこの辰に値う

虔んで香華燈燭 茶菓珍饈を備え 以て供養を伸ぶ

謹んで現前の清衆を集めて同音に 経名 を諷誦す

集むる所の功德は 法名 の霊位の為に

奉げ報地を莊嚴したてまつる

伏して願わくば生死の流れに処して 驪珠独り滄海に

輝き 涅槃の岸に踞して 桂輪孤り碧天に朗らかに

普く世間を導いて同しく覚路に登らんことを

十方三世 云々